繊消誌カメラレディ原稿作成方法

―日本語報文―

（2018年4月23日受付；2018年7月6日受理）

繊維　太郎\*♯　　製品　花子\*\*

\*消費大学　　　　\*\*科学株式会社

**Camera-ready Form for Shohi-kagakukaishi**

**― For Papers Written in Japanese ―**

Taro SEN-I\*＃　Hanako SEIHIN\*\*

*\*Shohi University, Osaka, Japan*

*\*\*Kagaku Co., Ltd., Kyoto, Japan*

**Abstract**

This document shows the layout for manuscripts to be submitted to the journal of the Japan research association for textile end-uses written in Japanese.  Since final images will be made based on the manuscripts prepared by Microsoft Word, authors must follow this document in detail.
　Authors also must be prepare manuscripts according to the instruction for the preparation of the journal.  Final images might be different from the layout produced by the authors.

(Received April 23, 2018；Accepted July 6, 2018)

**Key words:** *making procedure book, Research Association, printer, application*

(Journal of the Japan Research Association for Textile End-Uses, Vol.59, pp.○○–〇〇, 2018）

―― 要　旨 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

　注意事項

この「原稿作成方法」には，日本語論文を，最終的な印刷原稿に近い形で作成するためのレイアウトの指定について示している．学会誌に掲載する場合は，この方法に従って作成されたWordのファイルをもとにして印刷原稿を作成するので，細部まで留意して原稿を作成すること．レイアウト以外の書き方は，日本繊維製品消費科学会誌原稿執筆の手引に従う．なお，印刷上の都合により，著者が作成したレイアウトから若干の変更が生じることがある．

キーワード：

――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

１．用　　紙

　原稿はA4の用紙に作成する．上23mm，下25mm，左右19.5mmのマージンをとる．最初のページは専用のファイルを使用し，論文の種別，題目，著者名，所属，アブストラクト，受理日を，作成手順に従って1段組みとして記す．本文も専用ファイルを使用し段幅22字，段間隔2字の2段組みとして記す．ページ番号を原稿の右上マージンに記す．最終ページが大部分余白となる場合には，本文の長さを短くして前ページまでに収まるようにすることが望ましい．

２．フォント及び行間隔

2-1　日本文には指定のフォントを用いる．

句読点にはコンマ，ピリオド（， ．）を用い，日本文中の英数字は半角で記す．論文の種別と見出しにはゴシックを用いる．英文題名，アブストラクト，図の説明文等の英文，ローマ字にはCenturyあるいは類似フォントを用いる．フォントサイズ及び行間隔は，この作成手順中に示した．

2-2　配　　置

　１ページ目は，標題等と英文要旨を配置し，和文要旨は２ページ目からにすることを原則とするが，要旨が短い場合は，和文要旨を１ページ目に配置してもよい．
2-3　区分け

　本文の区分けにはポイントシステムを用いる．項目は1.　○○のようにして左寄せとし，前に1行空行を設ける．細目は1-2　○○，2-2-2　○○のようにして左寄せとし，前に空行を設けない．謝辞及び文献にはポイントシステムを適用しない．本文の段落の始めは1字あける．緒言，実験など，2文字の項目には間にスペースを2文字入れる．

３．記号及び式

　ベクトルやテンソル（ボールドイタリック体）を除く記号はイタリック体で記す．単位記号やsin，expなどの関数名はローマン体で記す．関数と引数の間を1字あける．＋，＝，＞，±等の前後には1字あける．独立した数式には(1)，(2)等の番号を右寄せで付け，式の上下に1行程度の空行を設ける．カメラレディ原稿では，添字が小さいと刷り上りで不鮮明になることがあるので注意が必要である．

４．図及び表

　図表の幅は半段または全段とする．Fig.1，Table 1のように通し番号を付ける．写真もFig. として図と連続した番号を付ける．図の説明は図の下に，表の説明は表の上に，図や表の画像に入れ込むのではなく本文の中に9pt. で記す．説明文が1行に収まる場合には，中央取りとする．説明文が複数行に及ぶ場合には，図表番号以降の説明文を両端揃えとする．表には原則として縦線を入れない．表中の項目や数値で注釈を与えるものには上付き文字a），b）などを添え，注釈を表の下に一括して記す．図表と本文の間には1行程度の空行を設ける．



Fig.1　○○○○○

Table 1 Yield of A

                 Yield(%)
　　Time(min)

             80℃   50℃   20℃

 1         82     32     12
 3         91     74     16
 5         92     88     32
 7         93     92     52

引用文献

（和文雑誌)

消費花子，消費太郎；日本人の生活について，繊消誌，46(1)：1300-1310（1995）

（欧文雑誌）

Teitlebaum, A. and Goldman, R.; Increased Energy Cost with Multiple Clothing Layers, J. Appl. Physiol.,

32(6): 743-751 (1972)

（和書の一部）

消費花子，消費太郎；日本の消費動向について，“日本人の生活”（第2版），天満次郎 編，消費出版社，大阪，p.30-40 (1995)
（洋書の一部）

Teitlebaum, A. and Goldman, R.; Increased Energy Cost with Multiple Clothing Layers, “Annual Review of Clothing Science” (2nd ed.), Shohi Hanako ed., Shohi Press, Osaka, p.56-67 (2005)
（オンライン文献）

著者名；“ウェブサイトの題名”，更新日付，入手先(入手日付)．ただし，更新日付は必須項目ではないが，画面に表示されている場合はなるべく記述すること．

--------------------------------------------